



国際戦略局国際経済課国際経済係長

**坂本 晃一**  
SAKAMOTO KOICHI

平成 20年 10月 総務省採用  
情報通信国際戦略局国際政策課  
平成 21年 7月 情報通信国際戦略局国際協力課  
平成 23年 7月 情報流通行政局総務課  
平成 24年 8月 大臣官房総務課  
平成 27年 8月 情報通信国際戦略局国際経済課主査  
平成 30年 8月 現職



## 霞が関の窓から世界を覗く

### 世界へ通じる窓

グローバル化という言葉があらゆる分野で使われるようになり、もはや陳腐にさえ聞こえますが、ICT分野の国際政策立案の最前線にある、ここ総務省国際戦略局にいますと、これほどこの言葉を実感できる場所はないでしょう。辺りを見渡せば、課の大半の職員が世界各国との政府間協議等のため世界中を飛び回っているし、振り返れば、世界中の政府関係者が我々の執務室を訪れ、打ち合わせ卓で小さな「国際会議」を行っているし、英語やらスペイン語やら中国語で電話応対している声が聞こえてくる。このような状況を毎日目撃していると、ここは世界を覗く窓なのだと思います。

かく言う私も、地デジの国際展開担当だった時、(この記事を読んでいる人はご存知かな?)ほとんどの国が日本方式を採用している中南米諸国や、ボツワナ、スリランカ、フィリピンと、世界一周チケットを握り締めて文字通り世界一周し、各国政府と協議したのは非常に貴重な経験でした。

### 世界を舞台に

現在、世界はAIやIoTなどの技術革新により、様々な分野でパラダイムシフトが起きています。これらの技術の登場により、新サービスの創出など、明るい未来も期待されますが、新たに生まれる課題は、いずれも我が国一国だけでは対処できないものであり、世界との協調が必要です。現在私が所属する国際経済課は、北米、欧州、豪州などの各国や、経済協力開発機構(OECD)、アジア太平洋経済協力(APEC)など、ICT分野の議論をリードする主体との窓口を担っています。それらの主体からは、日々新鮮な情報が送られ、日々活発な意見交換が担当者間で行われています。世界を相手にすると、一筋縄にはいかないこともたくさんありますが、グローバルな課題解決に向けて、上司、同僚、あるいは各国政府一丸となって職務に邁進することは、総務省ならではの大きな魅力の一つと自信を持って言えるでしょう。

### Q 総務省の魅力は？

A いろんな意味で多様性があるところですね。一口にICTといっても、いろんな分野があって、異動したら今までの知識なんてまったく役に立たない!なんてことはよくありますが、その分新しいことにチャレンジするチャンスなのだと思えば、チャンスはゴロゴロ転がっているようなものでしょう。また、国際戦略局は、総務省全体の国際窓口でもあるので、行政管理・評価分野、地方自治分野についても知ることができるのもメリットです。

### Q 入省後、成長したと思うことは？

A 当たり前ですが、自分が今やっている業務は一体何のためにやっているのか、ともしれば忘れがちですが、これを意識しながら業務に取り組むことで、より高いパフォーマンスを上げることができると感じています。そう考えると、自分のカウンターパートがどういう仕事をして、どういうことを考えているのか、自然と知りたいと思うようになったのは成長かな、と思います。

Private Time

2歳の娘がいるので、週末は家族で近所のカフェや大きめの公園に行ったり、保育園のイベントに参加したりして過ごしています。夫婦共働きなので、家事育児負担は50:50を目指し、日々試行錯誤しています。娘が寝た後のテレビゲーム時間も大事なリフレッシュタイムです。

